

## 第6回岐阜県多食種連携研究会プログラム

テーマ 「在宅で“食べる”を支える力 — 多職種連携がつくるこれからの訪問医療」

開催日：2026年5月10日（日）

開催場所：朝日大学6号館6201（岐阜県瑞穂市穂積1851）

9:00~9:35 開会の辞 朝日大学歯学部 摂食嚥下リハビリテーション学分野 教授 谷口裕重 先生

### 第1部

9:35~11:05 特別公演

座長 総合在宅医療クリニック 院長 市橋亮一 先生

医療法人ゆうの森 理事長 永井康徳 先生

テーマ：食支援は究極の多職種連携～亡くなるまで食べるためには～

### 休憩

11:10~11:30 協賛紹介、企業展示ご案内

### 第2部

11:30~12:30

○在宅医療って実際どうしてる？現場のリアルを覗いてみよう

歯科医師 河合悟 先生（第一河合歯科医院）

看護師 茨木あづさ 先生（街かど保健室 訪問看護ステーション街家/医療特化型ナーシングホーム街家）

理学療法士 小久保晃 先生（岐阜保健大学 リハビリテーション学部 理学療法学科）

作業療法士 須貝里幸 先生（大垣市民病院リハビリテーション科）

言語聴覚士 北川敬太 先生（岐阜大学病院リハビリテーション部）

管理栄養士 浅井ひの 先生（シティ・タワー診療所）

10分×6職種

職種別に“訪問現場何を見るか／何が困るか／病院や施設に伝えたいことなどなど”

12:35~13:20 在宅連携リアルセッション — 困りごとから考えるチーム医療 —

登壇者：同上

テーマ「在宅の困りごとを“チーム医療”でどう解決するか？」

前の講話の困りごとを討論

会場からのご意見も吸い上げる

13:20~13:30 閉会の辞

## 目的

本研究会は、多職種が連携することで、「食」におけるプロフェッショナルな人材を育成し、岐阜県下に幅広く高度な摂食嚥下医療を普及させることを目的とし、研修や情報提供活動をする。

第6回では、今後増加が見込まれる「在宅診療」をテーマとし、多職種連携の進め方とその重要性を理解すること、さらに学びを現場で実践できるようになることを目的とする。

参加費：一般 2,000 円 学生無料

参加形式：現地参加のみ

後援依頼予定：岐阜県医師会、岐阜県歯科医師会、岐阜県薬剤師会、岐阜県看護協会、岐阜県言語聴覚士会、岐阜県栄養士会、岐阜県理学療法士会、岐阜県作業療法士会、岐阜県歯科衛生士会、岐阜県訪問看護ステーション連絡協議会、岐阜県（担当：岐阜県 健康福祉部）

共催：日本老年歯科医学会岐阜支部、岐阜県病院薬剤師会、

単位取得：日本摂食嚥下リハビリテーション学会、日本老年歯科医学会研修単位（予定）

日病薬病院薬学認定薬剤師制度 III-2 1.5 単位（財）日本薬剤師研修センター研修制度 2 単位（予定）